

- 1、 日時 平成18年11月16日～19日
- 2、 参加者 松本弘行（団長・富山市） 向栄一郎（副・高岡市） 砂原孝（滑川市）
江守俊光（礪波市） 高橋久和（射水市） 坂井守、山内登美雄（黒部市）
田中光幸（魚津市） 山本喜男（県内議長会）
- 3、 訪問目的
富山・上海便就航一周年を記念し、空路の振興と国際親善を目的に関係機関を訪問

訪問内容

◎ 上海市人民代表常務委員会を訪問、王培生副主任・幹部数人と意見交換

- ・ 王副主任談 : 中国は市場開放後の経済発展はめざましい。これからは世界をリードしてゆくだろう。なかでも上海市はその中心であり世界の企業が競って進出している。空路も国際と国内専用の空港を整備し、中国全土への玄関口になっている。日本企業の生産、上海市内や中国国内観光の拠点として大いに利用して欲しい。

富山県からも中堅企業が進出しているが、空路振興のためにも一層の投資を期待する。国外観光に中国の潜在能力は高い。立山へは富山県の招待で訪問し感動した。

- ・ 訪問団 : 上海市の急激な発展に驚いている。中国の拠点として富山県の経済界でも注目度が高い。観光では北京五輪・上海万博には利用客が増加すると思われる。中国客の誘致だが、富山の立山連峰、とくに春のアルペンルートは世界的な観光地。また黒部、五箇山もあわせて見て欲しい。

.

◎ 上海航空本社を訪問、ハン社長、担当重役と意見交換

- ・ ハン社長談 : 上海航空は中国内の航空会社では中堅だが、上海を拠点にして国内便に力を入れている。2年後の北京五輪、4年後の上海万博に向けて大きく伸びる予定。富山便は一方通行だが富山県の魅力をPRし、増員を図りたい。

- ・ 訪問団 : 富山にも魅力ある観光資源が多い。とくに立山の雪の大谷、黒部溪谷、五箇山は中国の方にも喜んでもらえる筈。地元で上海市の魅力を伝えるが、富山便での観光誘致にも努力して欲しい。

.

◎ 北陸銀行上海駐在員事務所を訪問 中条宏志所長と駐在員と懇談

- ・ 訪問団: 沿海部の人件費高騰。投資先として上海市の見通し。対日感情の変化など。
- ・ 所長談: 靖国問題は政治的なアジであり、一般市民は無関心。人件費は上海市が最も高く、生産工場が内陸部に。周辺部のインフラ整備が追いつかず、生産計画に支障も。近郊の工業団地が再開発地区とされ立ち退き問題も起きている。

中国は一党独裁であり、政治に左右されるが、人件費は絶えず内陸からの流入で安く、情報、流通の拠点として企業進出は続くと見られる。上海万博後が注目される。

◎ 市内観光

- ・ 豫園 上海の浅草。明代の庭園を中心に現代上海にあって最も中国らしさを残す。
- ・ 周荘 上海近郊の水郷の村。観光化のし過ぎ感もあるが、笹舟の遊覧は魅力。
- ・ 外灘 バンド。黄浦江沿いに上海を象徴する西洋列強が競った重厚な建築群。対岸の浦東や周辺の近未来的摩天楼に囲まれて旧と新の奇妙な対象をみせる。
- ・ 瑞金賓館 三井クラブも保存され日本庭園と英国式庭園が調和した古典調ホテル。